

Ryunan Spirit

校長通信

R6.01.29

Vol.43

【自分たちに何ができるか ⑤】

みんなからのメッセージ……】

金曜日に配信された新聞記事を読んで、みんなが書いてくれた、心を込めたメッセージを、一部ですが紹介したいと思います。

・中学生は小学生と違い大変なことがたくさんあると思う。それを乗り越えて少しでも前向きな気持ちになり、小さな幸せを見つけて頑張ってくださいー

・家が倒れたり大切な人と別れたり、辛い思いをしているかも知れないけど、いつか必ず元に戻れると信じて諦めないで頑張つて欲しい。自分も何かできることはないかと考えて役に立てるように頑張ります。

・私が生まれてすぐに東日本大震災が起こりました。その時私はまだ赤ちゃんで自分で歩くことも話すこともできませんでした。だからその時の記憶は残っていません。…中略…この一月一日に起きたことを忘れられるのが一番辛いと思います。だから私は、地震を体験した人と同じ気持ちを理解することはできないけれど、この地震の出来事を忘れないで生きていきたいです。この地震を思い出して苦しいと感じることも多いと思います。頑張ってください。

・あなたのその決断はきつと大丈夫。その決断をできただけです。この状況の中でも勉強にはげんでいることがすごいと思いましたー！応援しています。

・まだ復興には時間がかかると思うし、気持ちも追いつかないと思うけど、私たちは全力で応援しています。そして、自分たちができることはほんの少しだけど、募金などの活動を目にしたときには少しでもいいことと思います。これからまだ辛いことがあると思うけど、頑張ってください。応援しています。

・今は生きるのが辛いと思うけど、希望を失わないでー復興して、また繁盛している能登半島を願っています。

・大変なことが多いと思うけど、疲れたら、ゆっくり休んでください。一日でも早く元の生活に戻れるように、願っています。私たちにできることがあれば、何でも言ってください。流山から応援しています。と伝えたい。

・大地震が起きたことだけでも大変だったのに、それに加えて大雪もあって本当に辛いんだろうと悲しくなりました。少しずつでも復興を進めて前を向いてほしいです。

・日常通りの生活がなくなつて辛い日々だと思います。いつか日常に戻ってくるはず。それまで頑張ってください。自分も応援しています。

・石川県の中学生の方々へ。普通の日常を過ごしている自分たちにはわからないけれど、とても大変な思いをしていると思うけど、頑張ってください。

ださい。応援しています。

・地震のせいで生活が変わってしまったと思うけど、特に受験を控えている人は負けずに頑張ってください。

朝の短い時間の中で、みんなが書き込んでくれたメッセージの一部を紹介しました。言葉にすることが難しかったり、短時間では打ち込めなかつたりしたことがたくさんあるのではないだろうかと思います。大切なのは、私たち自身がこのことを決して忘れないこと。地震などの災害は決して他人事ではない、もしかしたら南海トラフ地震のような大きな災害が近い将来起こるかも知れないのです。そんなとき、私たちはどうすべきなのか、それを考えてみることも大切です。そして、一回の募金だけで終わらせるのではなく、他人事にするこなく、自分たちにできる支援を続けていきたいと思ひます。

今、学習委員会が中心となつて学用品支援の準備を進めてくれていますが、その他にも自分たちでできることを探していきたいでしょう。明後日には会長さんと井崎市長さんにみなさんの募金を届けてきます。市長さんは二月一日に能登町に行かれるとのことですし、流山からもたくさんの方が支援に入られています。自分たちができること、無理なく応援できることを南部中の仲間たち全員で引き続き取り組んでいきましょう！！